

都市再生整備計画(第2回変更)

谷山駅周辺地区

鹿児島県 鹿児島市

令和4年2月
令和6年2月(第1回変更)
令和7年3月(第2回変更)

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☒
都市再生整備計画事業	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	鹿児島県	市町村名	鹿児島市	地区名	谷山駅周辺地区	面積	15.3	ha
計画期間	令和4年度～令和7年度	交付期間	令和4年度～令和7年度					

目標
大目標:副都心にふさわしい安全・安心で魅力的な都市空間の形成 目標1:多世代の地域住民が安全・安心に暮らすことができるまちづくり 目標2:谷山駅や商業地域と一体となった魅力ある都市空間の形成
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 ・利便性の高いまちを維持するために中心市街地や副都心等に高次都市機能を集積するとともに、地域生活拠点や団地核、集落核を基本として、生活利便施設を集約し、一定の人口密度を維持しながら歩いて暮らせる生活圏の形成を図る。 ・人口の集約や行財政の効率的な運営のためにコンパクトかつ安全な市街地の形成に向けた土地利用の促進を図る。 ・中心市街地や副都心の持つ都市機能を誰もが享受することが可能となるために、利便性・効率性の高い持続可能な公共交通体系の構築を図り、拠点間がネットワーク化された市街地の形成を図る。
まちづくりの経緯及び現況
・谷山駅周辺地区は、谷山地域において中心的な役割を担ってきた地区であるものの、都市基盤が未整備で幹線道路の混雑や中心商店街の活力低下が見られていたことから、JR指宿枕崎線の鉄道高架化事業に併せて土地区画整理事業を推進し、幹線道路、駅前広場、公園及び密集住宅地における生活環境の改善等の一体的なまちづくりをおこない、魅力ある都市空間の形成や都市機能の充実を図る必要があった。 ・平成19年度から進めている「谷山駅周辺地区土地区画整理事業」と併せ、平成19年度から平成29年度にかけて「谷山地区連続立体交差事業」を一体的に推進し、幹線道路の整備や踏切の解消による交通環境の改善、及び面的整備による密集住宅の解消が図られるとともに、平成30年度から平成31年度にかけて実施した「都市・地域交通戦略推進事業」により谷山駅前広場等の整備を行い交通結節機能が強化されるなど、安全性や快適性が向上した都市空間が形成されつつある。 ・しかし、地区内には公共施設の未整備箇所が依然として残されているため、引き続き土地区画整理事業を推進するとともに、新たに「都市構造再編集中支援事業」を導入し、幹線道路の歩道整備による歩行者の安全性の確保や、公園整備による憩いやコミュニティの場を確保することで、多世代の地域住民が安全・安心に暮らすことができるまちづくりを推進する。 ・また、平成28年度に策定した立地適正化計画において、当地区の大部分を都市機能誘導区域(副都心(広域商業集積ゾーン))と位置づけて高次都市機能を集積させる方針とし、その誘導施策としてJR谷山駅等における交通結節機能の強化や魅力ある都市空間の形成を図ることとしていることから、谷山駅前広場と連続した空間となる2号公園の整備により魅力ある景観形成を図るほか、幹線道路の歩道においてカラー舗装を行うことで沿道景観の先導を行い、にぎわいのあるまちなみの形成を演出することで、魅力ある都市空間の実現を目指す。
課題
・歩行者が安全に移動できる交通環境を確保するとともに、魅力ある都市空間の形成を図るため、幹線道路の歩道整備(カラー舗装)が必要である。 ・多世代の地域住民の憩いやコミュニティの場を確保するとともに、谷山駅前広場と連続した空間となる2号公園の整備により魅力ある景観形成を図るため、公園の整備が必要である。
将来ビジョン(中長期)
「第六次総合計画(案)」において谷山地区は、土地区画整理の推進により、生活環境の改善を図り、にぎわいとゆとりある都市空間の創出を目指している。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 ・谷山駅周辺は、立地適正化計画において、都市機能誘導区域（副都心（広域商業集積ゾーン））に位置づけられており、利便性が高くにぎわいのあふれるまちとするため、高次都市機能の集積を図ることとしている。また、居住や都市機能の誘導施策として、JR谷山駅等における交通結節機能の強化や魅力ある都市空間の形成を図ることとしている。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 ・谷山駅周辺地区では、「鹿兒島都市計画事業谷山駅周辺地区土地区画整理事業」を実施している。 ・「都市・地域交通戦略推進事業」により、谷山駅前広場や鉄道高架下の駐輪場・遊歩道の整備等を行い、交通結節機能の強化や交通結節点へのアクセス性を高めることとしている。							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
公園利用者数	人／日	都市再生整備計画区域内における公園利用者数	公園の整備により、憩いやコミュニティの場として公園が利用され、多世代の地域住民が安心して暮らすことができるまちづくりを実現できる。	23	R3	157	R7
都市空間の魅力度	%	住民アンケートによる谷山駅周辺地区の都市空間を「魅力的」と感じる人の割合	歩行者道のカラー舗装や谷山駅前広場と連続した空間となる2号公園の整備等により、谷山駅周辺地区の都市空間が魅力的になったかを地域住民に判断してもらう。	64	R3	83	R7

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【・多世代の地域住民が安全・安心に暮らすことができるまちづくり】 ・地域住民の憩いやコミュニティの場、地震時の退避場所となる、街区公園の施設整備を行う。 ・幹線道路の歩道(自転車歩行者道)において、歩行者道をカラー舗装とすることで、自転車道(黒舗装)と視覚的に明確に区別できるようにし、歩行者が安全に移動できる交通環境を確保する。		・1号公園【公園:基幹事業】 ・2号公園【公園:基幹事業】 ・緑化施設等(カラー舗装)【高質空間形成施設:基幹事業】
【谷山駅や商業地域と一体となった魅力ある都市空間の形成】 ・谷山駅前広場と連続した空間となる2号公園等の整備等により、魅力ある景観形成を図る。 ・沿線の商業施設と一体となった魅力ある都市空間を形成し、賑わいのあるまちなみを創出するため、幹線道路の歩道(自転車歩行者道)のうち、歩行者道についてカラー舗装を行う。		・1号公園【公園:基幹事業】 ・2号公園【公園:基幹事業】 ・緑化施設等(カラー舗装)【高質空間形成施設:基幹事業】
その他		
かごしまコンパクトなまちづくりプラン(立地適正化計画)では、谷山駅周辺地区の大部分を都市機能誘導区域(副都心(広域商業集積ゾーン))と位置づけて高次都市機能を集積させる方針としている。また、その誘導施策として土地区画整理事業の推進やJR谷山駅等における交通結節機能の強化や魅力ある都市空間の形成を図ることとしており、本計画は立地適正化計画に適合している。		

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

6 ...B

01879